

出土木簡帛文（抄）

凡 例

- (一) 釈文の漢字は概ね現行常用自体に改めた。
- (二) 釈文に加えた符号はつぎの通りである。
- ・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。
- 木簡の上端もしくは下端に孔が穿たれていることを示す。
- □ □ 欠損文字のうち字数が確認できるもの。
- □ □ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。
- □ □ 欠損文字のうち字数が数えられないもの。
- □ □ 記載内容から見て上または下に一字以上の文字を推定したもの。但し、削屑においては煩雑になるので原則として省略した。
- ■ ■ 抹消により判読困難なもの。
- 〰 抹消した文字の字画の明らかな場合に限り原字の左傍に付した。
- 〰 異筆、追筆。
- 〰 合点。
- 〔 〕 校訂に関する注のうち本文に置き換わるべき文字を含むもの。
- () 右以外の校訂注および説明注。
- 〔 × 〕 文字の上に重書して原字を訂正している場合、訂正箇所左傍に・を付し原字を上を要領で右傍に示した。
- カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。
- ママ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。
- (三) 釈文下の上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はミリメートル)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。なお長さ・幅は木簡の文字の方向による。
- (四) 釈文下の中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りである。なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

- 011 型式 長方形の材のもの。
- 015 型式 長方形の材の側面に穴を穿ったもの。
- 019 型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は011・032・051型式のいずれかと推定される。
- 021 型式 小型矩形のもの。
- 022 型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。
- 031 型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。
- 032 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。
- 033 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を失らせたもの。
- 039 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は031・032・033型式のいずれかと推定される。
- 041 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状に作ったもの。
- 033 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にし、左右に切り込みをいれたもの。
- 049 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。
- 051 型式 長方形の材の一端を失らせたもの。
- 059 型式 長方形の材の一端を失らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は033・051型式のいずれかと推定される。
- 061 型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。
- 063 型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。
- 081 型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。
- 091 型式 削屑。
- (五) 釈文下の下段に発掘調査次数と、出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。また柱穴出土の場合、掘形・抜取の別が判明するものは注記した。
- (六) 最下段のゴチック体の数字は写真図版のプレート番号である。

A 園池SG五八〇〇出土木簡

園池SG五八〇〇X

(1) 竈・屋^{炊力}二
一 釘百八十

合釘千九百五十六

(137).24.3 081 110次 PQ80 37

園池SG五八〇〇B

(2) 宋麻呂方「二丈」

175.27.5 032 九九次 KP72 37

(3) 貞雄方「二丈」

130.23.4 032 九九次 JB72 37

(4) 忠安方「二丈」

154.24.4 032 九九次 JB72 37

(5) 河村郡河村郷白米五斗

(158).33.5 081 九九次 KS70 37

(6) 弟[○]第十二櫃^{〔第〕}

77.26.5 022 九九次 JE64 37

(7) $\square\square$ 者見見月有

• □六四三二日月

(125).23.5 059 九九次 KR71 37

(8) 春米米

春春春□
〔春力〕（他二判読不能ノ墨痕アリ）

(125).48.2 081 九九次 JE72 37

B 大垣関係遺構出土木簡

東面大垣東雨落溝SD五八一五

(9) ☐ 東力 菌進上 ☐ 三升

●
[物マ首万呂カ]
□
□
□
□
□
右種付三
[五カ] □
[蓼カ] □

(161)·(25)·5 081 九九次 DD59 38

東面大垣西雨落溝SD九〇四〇側石拔取穴

(10) 他田国足綾公足

狩
マ忍人
穴太

□□万呂

•
i
□

錦マ鳥養

右

坂上馬養「驗」

「丈新惠廻述」

(169)·(48)·4 081 一四五—一二次 *CD18* 38

南面大垣下石組溝SD五八三〇B

(11) 田部常万呂

□
□

(216)・(30)・5 081 一七六次 AH22 38

(12)

川成 大万呂

五
稻
人

(58)·(32)·2 081 一二七六次 AH22 38

(31) 三方郡乃止三家人羽志米六斗 141・32・6 031 一一〇次 IL64 柱掘形 39

(32) ・「金勝勝 今□報□」

〔恐カ〕

□々□若子御前□

〔金カ〕

□金八十八乙巳

・「勝火火長□□」

恐恐受給又欲

「九□大□大」

(131)・35・2 081 一一〇次 IK62 柱掘形 39

南北棟建物SB九〇七五

(33)

□大伴二人 三富

(94)・(17)・6 081 一一〇次 IB69 39

南北棟建物SB九〇七六

(34)

・ □□□申カ

・ 二□

(69)・(15)・3 081 一一〇次 ID73 柱掘形 39

東西塀SA九〇六四

(35)

・ 所部 食

・ □□□赤カ

(112)・(32)・11 065 一一〇次 IG74 柱掘形 40

東西塀SA九〇六〇

(36)

隱伎国周吉郡 山部郷生壬部佐奈□
海藻六□ 〔斤カ〕 □

(152)・28・4 039 一一〇次 IK68 柱掘形 40

柱SX九〇八六

(37) 雇工春刀良 (柱根側面墨書)

長(540)・径388 061 一一〇次 IN64 41

東西橋SC八四六五

(38) 右廿八

370・(255)・77 061 九九次 KR65 41

D 溝・土坑出土木簡

土坑SK九〇九〇

(39)

・ 姦里 知□立カ里

□マ里 長谷マ里

・ □□□和之取カ里 青見里

前里 石寸里

(159)・(25)・2 081 一一〇次 II63 39

(40)

六月□七カ

091 一一〇次 II63 42

(41)

郡□郡カ

091 一一〇次 II63 42

斜行溝SD九〇四一

(42)

□甘首名 〔大カ〕 〔江カ〕
□野国足

(95)・13・3 019 一一〇次 II61 39

(43)

□□倭カ里

(37)・(27)・2 081 一一〇次 II61 42

(44) 下道人守□ (131)・(8)・4 081 一一〇次 IN61 41

(45) □□朝臣□□□ 091 一一〇次 IN61 41

(46) □ 目下 091 一一〇次 IN61 42

南北溝SD一六三〇〇

(47) 召 壬生直得足 朱雀門□□□□□□□□
武□□虫□□
[射臣カ]

秦川辺□□□□□□□□
子身陵比□□□□□□□□
片野連嶋村 [方カ]□□□□
(228)・(16)・5 061 二四五―二六次 CD18 42

南北溝SD九〇九二

(48) 明月□□ 月月月月 (左側面)

月月月馬馬 210・9・8 065 一一〇次 IN62 41

(49) □□[年カ]八月七 091 一一〇次 IN62 42

(50) □□□□□□
[駿河国カ]

(51) 病 091 一一〇次 IN62 42

(52) 各田マ林□ 091 一一〇次 IN62 42

(53) □□[勝カ]マ□ 091 一一〇次 IN62 42

(54) 若倭マ□ 091 一一〇次 IN62 42

(55) □ 万呂 091 一一〇次 IN62 42

E 整地土・包含層出土木簡

下層整地土

(56) 柏カ]原里□ (65)・18・3 081 一一〇次 IN62 41

整地土

(57) □□通通通□
通通加□□
大人人

臣成成□□ (165)・(49)・8 081 一一〇次 IN73 42

包含層

(58) □□マ広立九常 (89)・12・3 032 一一〇次 IN61 42